

第7話 リサイクル製錬 の登場

1

爆食大王の登場

セイレンジャーが成長し、大規模な採掘、選鉱、製錬、精製ができるようになって、非鉄金属の生産量はどんどん伸びた。また、金属の製造過程で発生する硫酸やスラグ(1)なども有効活用できるようになり、当初問題となっていた硫酸による農産物の育成阻害や人間への健康被害はなくなってきた。

我々も成長したな。多くの困難はあったが、以前と比べると見違えるほど能力が上がった

なんたって私が大量に鉱石を掘り出すことができるからな

私はそれをうまく濃縮しているのよ

それもこれも、僕が鉱石を見つけ出すからだぜ！

さらに、私が高純度化して金属の活用の幅を広げているわ

我々は全員揃って1つのチームなんだ。これからもう一緒だぞ！

セイレンジャー全員の流れもなかなか良くなってきたな

と亜鉛はセイレンジャーのチームワークの良さを感、皆に伝えた。

おかげで我々の仲間も人間に役に立つ金属として認められたしなと銅将軍は嬉しそうに語った。

だけど、私や鉛は、昔あんなにもてはやされていたのに、今は毒の代表みたいな言われ方だ

という水銀の言葉に、

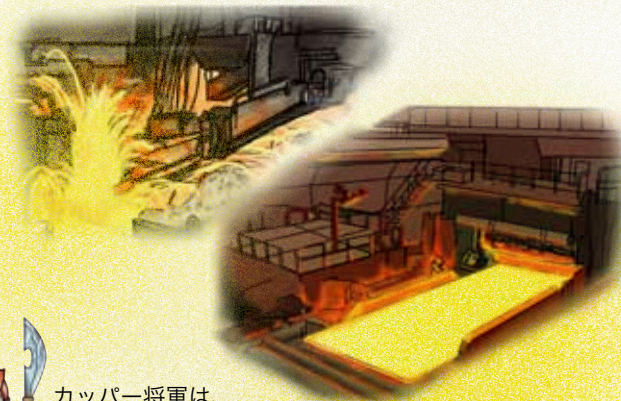
隣で聞いていたシルバー王子は

そうすねるな。我々は宇宙の始まりから存在しているのだ。それに比べれば人間の存在時間なんかわずかなものだ。きっとまた我々が見直される日が来るさ

と語った。

そういえば、古代から変わらず存在感を放つゴールド女王様以外の我々も、人間に認められ始めたのは嬉しいことだね

と亜鉛は笑顔を浮かべたが、



銅将軍は、

確かにそれはいいことだけど、人間が金属を作るペースが速すぎて少し心配だ。最近どんどん仲間が増えてきて、それに伴って人間が使うエネルギーも膨大な量になってきた

と、不安を語り始めた。



その言葉を遠くで聞いていた爆食大王が近づいてきて、

フフフ、そろそろお前らも気が付き始めたか。
人間というものの欲は限りがないのだ

と口を挟んだ。



誰だ、お前は

というシルバー王子に、

爆食大王は、

すべての資源を食い尽くす爆食大王さ。
わしが少し指をならすだけで人間の欲がむくむく膨らんで、
彼らは際限もなく、エネルギーや資源を使って
お前らや鉄王国の仲間を増やそうとするのだよ

と人間の欲について話し始めた。さらに、

最近では、石油からプラスチックという
お前らのライバルみたいなものもどんどん作っているぐらいだ。
ここまで来ると人間は自分の欲を制御できずに、
自滅するしかないさ。
あとはゆっくり自滅を待つだけだ

と語った。

カッパー将軍が感じた不安どおり、爆食大王に操られた人間は、セイレンジャーをおだて上げて、大量の鉄鋼や非鉄金属を作り出すだけでなく、石油・石炭といった化石燃料も大量に消費するようになり、地球の温暖化(11)が人間の生活そのものを脅かし始めていたのだ。



このままでは資源がなくなってしまう

とシルバー王子も不安の色を浮かべた。



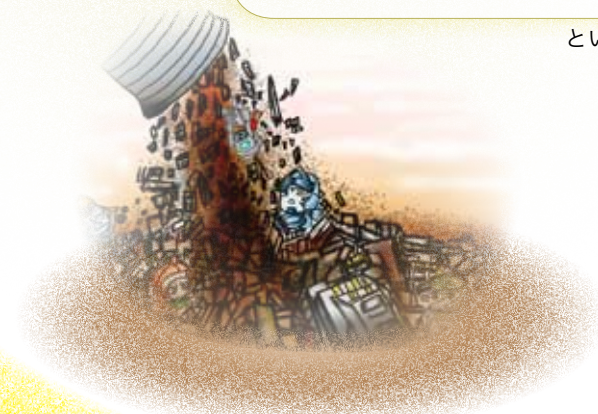
ただ、昔にもエネルギー資源がなくなって衰退した文明はあるらしいが、金属資源がなくなったと聞いたことはないぞ

という錫の言葉に、

カッパー将軍は、

一部の地域で金属資源がなくなって
大変なことになった話はたびたび聞くよ

といった。



ここまで、みんなのやり取りを見守るように聞いていた
ゴールド女王が立ち上がり、

皆さん、慌てるのではないですよ。
私は常に再生しているではないですか。
きっと皆さんのことも再生してくれる存在が現れます

といった。

